

■南アフリカ：中国と原子力協力協定を締結

南アフリカエネルギー省は2014年11月7日、2030年までの原子力発電の960万kWの増設計画に向けて中国の国家能源局と原子力協力協定を締結したと発表した。これまで、南アフリカは原子炉調達を前提とした協定をフランスとロシアの間で締結しており、日本との締結も計画しているとされる。南アフリカの原発建設にはフランスのアレバとフランス電力会社（EDF）、東芝傘下のウエスチングハウス・エレクトリック（WH）、中国広核電集団（CGN）、韓国電力公社（KEPCO）が関心を示している。